

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



県政へ  
全力投球!!

# 千葉市民・稲毛区民の 更なる安全・安心策を求めて!!

## 稲毛区の皆さまへ

皆さまには、お元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。日ごろは、私の政治活動に温かいご支援をたまわり、心より御礼申し上げます。

さて、議会運営委員長の大役も平成20年6月議会をもって終わりました。この間、別掲のように、民主的かつ公平、公正な、しかも県民の皆さまに納得していただける議会運営を図るため、思い切った議会改革を行ってきました。

今までの古いしきたりや慣習を打破し、少数意見を取り入れるため、議員の強い抵抗もありましたが、稲毛区の皆さま方の熱いご支援を感じさせていただき、大変力強く励まされ議会改革に取り組むことができました。

また、私の日常の議員活動は、平成19年4月(選挙)に公約いたしました「県民皆さまの安全・安心策」と「税金の無駄遣いを排除する」ことの10の政策(公約)実現のため、積極的に議会質問を通じて訴えてえてきました。

これからも、皆さまあっての阿部紘一であり、初心を忘れずに皆さまの代理人として、粉骨碎身頑張ってまいりますことをお誓い申し上げます。また、市政、県政のご相談をどなた様からでもお受けさせていただきますので、何なりとご相談におこし下さい。

結びに、これから寒い時候となりますが、皆様にはお風邪などひきませぬように、お体をご慈愛下さいませ。

阿部紘一

稲毛区特集 9月県議会一般質問



10月2日午後1時一般質問に登壇した阿部紘一議員

阿部県議の  
質問を受けて

県教育長

# 【全ての中1で36人学級検討】 「学校給食の新たな安全確保」

あべとこう一

県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください

**阿部紘一議員**  
**9月県議会一般質問項目**

- 教育問題について
- 環境問題について
- 中小企業への融資について
- 救命機器ADEの普及について
- メラミン汚染対策について
- その他

議会運営委員会委員長として活躍、いつも変わらぬ真摯な政治姿勢を貫き、議会改革にも汗を流してきました。阿部県議の質疑を特集します。

阿部県議は、これまで議会運営委員会委員長として活躍、いつも変わらぬ真摯な政治姿勢を貫き、議会改革にも汗を流してきました。阿部県議の質疑を特集します。

自らの公約実現を求めて、県議会での積極的な活動を開催している千葉市・稲毛区選出の阿部紘一(あべ・こういち)県議は、千葉市に必要な県議として頑張っており、九月定例県議会でも一般質問に登壇し、教育問題をはじめ、メラミン汚染対策など市民生活にかかわりの深い重要な課題を取り上げ、堂本知事らの方針をただしました。

阿部議員 少人数学級の重要性は、これまでもたびたび主張してきたが、明日を担う子どもたちを育成する学校教育の充実は、県民の願いであり、中でも小・中学校の少人数教育は、重要な役割を果たしている。

そこで、本県では「中1ギヤップ」に対応するため、大規模な中学校一年生で三十六人学級を実施できな

いか。

教育長 県教委では、今年度から、いじめや不登校の可能性になっているが、まずは、全ての中学校一年生で三十六人学級を選択できることが可能になっています。

ヤップ」に対応するため、大規模な中学校一年生で三十六人学級を選択することが可能になっています。ヤップ」に対応するため、大規模な中学校一年生で三十六人学級を選択できな

い。このいわゆる「中1ギヤップ」については、他の学校においても重要な課題となつていてことから、大規模ではない中学校の第一学年ににおいても、学校に加配された少人数指導等の教員を活用して、三十六人学級を含めた弾力的な学級編成が可能なよう、その方法等について前向きに検討してまいります。

このいわゆる「中1ギヤップ」については、他の学校においても重要な課題となつていてことから、大規模ではない中学校の第一学年ににおいても、学校に加配された少人数指導等の教員を活用して、三十六人学級を含めた弾力的な学級編成が可能なよう、その方法等について前向きに検討してまいります。

## 食品の生産履歴を確認

阿部議員 今後、学校給食の安全を確保するため、県教育委員会はどう取り組むのか。

教育長 県教委としては、学校給食の一層の安全を確保するため、安全で安心な県産品のさらなる活用を推進とともに、市町村教育委員会や千葉県学校給食会に対し、新たに①食品の選定に当たっては、製造業

者に加えて販売業者や食品の原産国、生産履歴の確認を行うこと②物資の選定を行ふ委員会に保護者や衛生管理の専門家等の意見を取り入れることなど、きめ細かく指導してまいります。今後とも、市町村教育委員会や関係部局との連携を強め、安全・安心な学校給食が提供されるよう取り組んでまいります。

について、よりきめ細かな指導を進めるため、大規模な中学校の第一学年では、学校の判断で三十六人学級にすることも可能にしたところです。

ホームページ <http://abe-kouichi.com/>

# 県政一筋に汗を流す あべこう一県議会

稻毛区特集 9月県議会一般質問



自席で再質問に立つ阿部紘一議員

**阿部議員** 救命機器「AED」の身近な場所への設置により、突然の心肺停止等で、今まで救うことのできなかつた命も、助けることができるようになった。AEDの設置情報は、広く県民に公表すべきであると考えるがどうか。

**健康福祉部長** 県有施設のAED設置情報の公表については、ホームページや広報誌に掲載し、周知を図る方法等が考えられるが、市町村等が設置しているAEDとも合わせて、公表していくことが効果的だろうと考えています。

そこで、その効果的な公表の仕方を市町村や消防等の関係機関とも協議して、来年度早々には公表できるよう取り組んでまいります。

**阿部議員** AEDの講習会の開催等に積極的に取り組むべきと思うがどうか。

**健康福祉部長** 県はこれまで、県職員に対する講習会や健康福祉センターでの一般県民向けの講習会を開催しており、今年度も設置施設の職員を対象にした講習会を予定しています。

**阿部議員** メラミン混入食品すべて回収

**健康福祉部長** これからも設置施設の職員を対象にした講習会を予定しています。これからも設置施設について、すべて回収していくことから、九月三十日までに全施設について、すべて回収していただけます。

**阿部議員** 九月定例県議会で、自民党が党の代表質問を行いました。代表質問は、財政問題を筆頭に、逼迫する自治体病院への支援策を含む地域医療問題や救急医療問題と先端医療、食の安全・安心、三番瀬問題、今後の企業立地、農林水産業などいざれも県政の重要な課題を取り上げ、堂本知事の姿勢を追及し、党としての懸念を表明しました。堂本知事は、九月補正段階でもなお九十億円の財源不足には、累観が許されないとして、滞納整理や全庁一丸での経費削減による年度内の財源不足解消を表明しましたが、全体としては、県政への明確な姿勢はみられませんでした。

**阿部議員** いつも変わらぬ真摯な政治姿勢

**議連委員長として議会改革に実績挙げ**

**平成19年度 議会改革の成果**

- (1) 常任委員会等の会議録の録音  
(平成19年10月10日議運決定)  
会議は録音することとし、録音できる機器を整備する。
- (2) 委員会会議録の逐語記録及び公開  
(平成19年10月10日議運決定)  
会議録は逐語記録とし、会議録は公開する。なお、公開の方法は、県議会のホームページに掲載することにより行う。
- (3) 常任委員会等の原則公開  
(平成19年10月10日議運決定)  
委員会の傍聴は、委員長の許可を必要としない原則公開とする。
- (4) 委員会条例の一部改正
- (5) 委員会の視察報告  
(平成20年2月19日議運決定)  
報告書をホームページで公開することとする。
- (6) 委員会傍聴人への資料配布  
(平成20年2月19日議運決定)
- (7) 会期等の見直し(常任委員会の異時開催等)  
(平成20年3月4日議運決定)
  - ① 質問日については6日間とする。  
なお、年に一人1回95人の質問者数については、19年5月23日の議会運営委員会で決定され、平成19年度から実施した。

## 来年度早々に公表へ

### AED設置施設など

す。また、県立学校では、教職員を救急法講習会へ参加させるなど、AEDに関する知識の習得、普及に努めているところです。本年

度は、職員向けの講習会が三十九回開催され、約九千人が受講する予定となって

います。

**阿部議員** 健康被害調査の必要性があると思うがどうか。

**健康福祉部長** 今後とも県民からの相談に対応するため、県内に設置している食品衛生県民ダイヤルや各保健所の窓口で、健康被害等の相談に対応していく

ます。

**阿部議員** 健康被害調査の必要性があると思うがどうか。

**健康福祉部長** 今後とも県民からの相談に対応するため、県内に設置している食品衛生県民ダイヤルや各保健所の窓口で、健康被害等の相談に対応していく

ます。

ます。